

# クロアチア経済の概況



Dubrovnik\_foto\_Romeo\_Ibrišević/Ministarstvo turizma i sporta/

2021年12月  
在クロアチア日本国大使館

# 目次

- 1 基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 2 経済概況・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 3 日・クロアチア経済関係の概況・・・・・・・・ P 14
- 4 クロアチアの投資環境・・・・・・・・ P 18

# 1 基本情報



## 【基本情報】

人口：404.8万人（2020年）

名目GDP：501.9億ユーロ（2020年）

面積：56,594km<sup>2</sup>（日本の面積の約15%、九州の約1.5倍）

首都：ザグレブ（人口80.9万人）

（参考）スプリット16.8万人、リエカ11.4万人、オシエク10.0万人、ザダル約7.6万人

民族：クロアチア人(90.4%)、セルビア人(4.4%)等（2011年国勢調査）

宗教：カトリック、セルビア正教等

通貨：クーナ(1ユーロ=約7.5クーナ。2023年のユーロ導入を目指す)

公用語：クロアチア語（都市部では英語も通じる）

在クロアチア邦人数：約160人

姉妹都市：川崎市とリエカ市(1977年～)、京都市とザグレブ市(1981年～)、  
碧南市とプーラ市(2007年～)

## 【国の特徴】

### ①旧ユーゴスラビア紛争からの復興

- ・1991年に旧ユーゴスラビアから独立。1995年に民族紛争を解決。
- ・その後、戦後復興と民族和解を推進。2020年7月に発足した第2次プレコビッチ政権は、特にセルビア系少数民族との和解に向けて尽力。

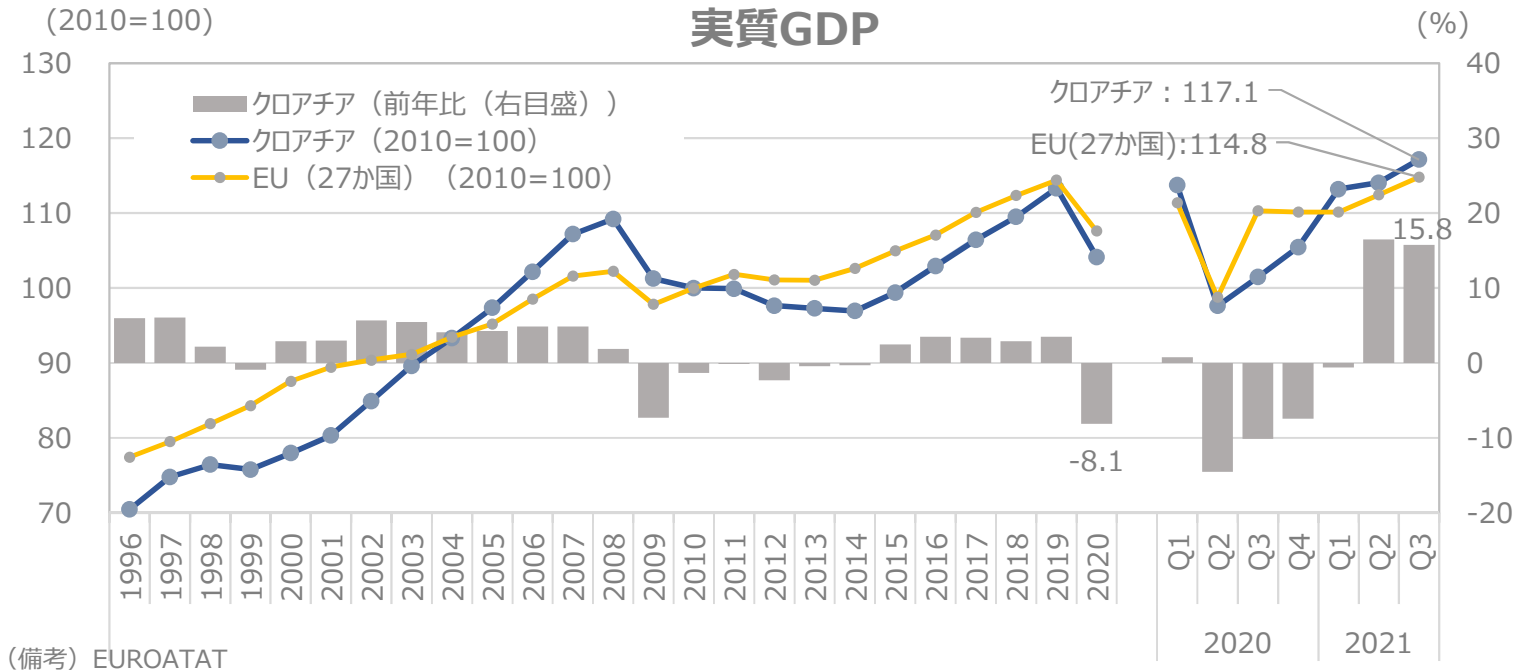
### ②観光大国

- ・アドリア海に面する風光明媚な海岸線と、大小1,185の島々を抱える欧州有数の観光大国。

### ③EU加盟国

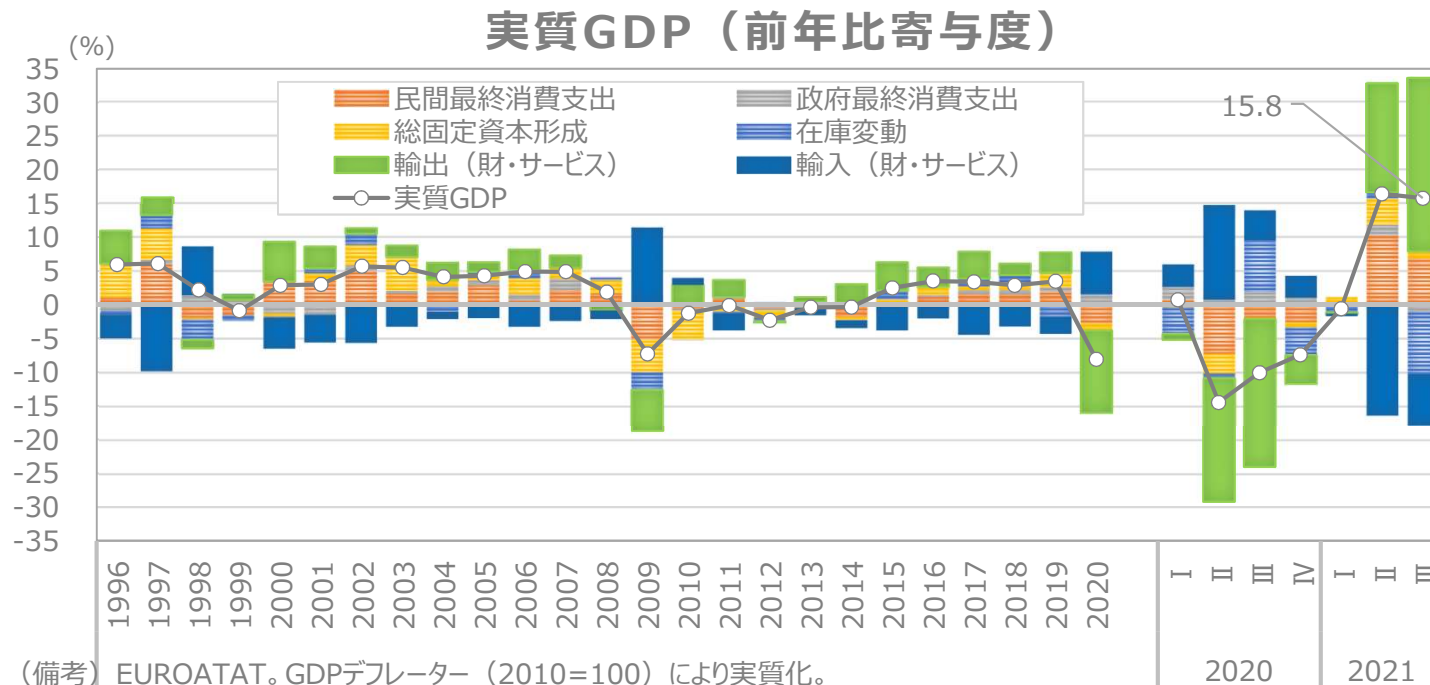
- ・2013年7月に加盟。現在は西バルカン諸国のEU加盟を後押し。
- ・2020年前半にEU議長国（半年間の任期）を務めた。

# 2 経済概況 ～ 実質GDP ～



## 【実質GDP】

- ① コロナ流行の影響等により、2020年は前年比8.1%減。
- ② 2021年夏の観光シーズンが好調に推移するなど、第2・3四半期は前年比2桁増。

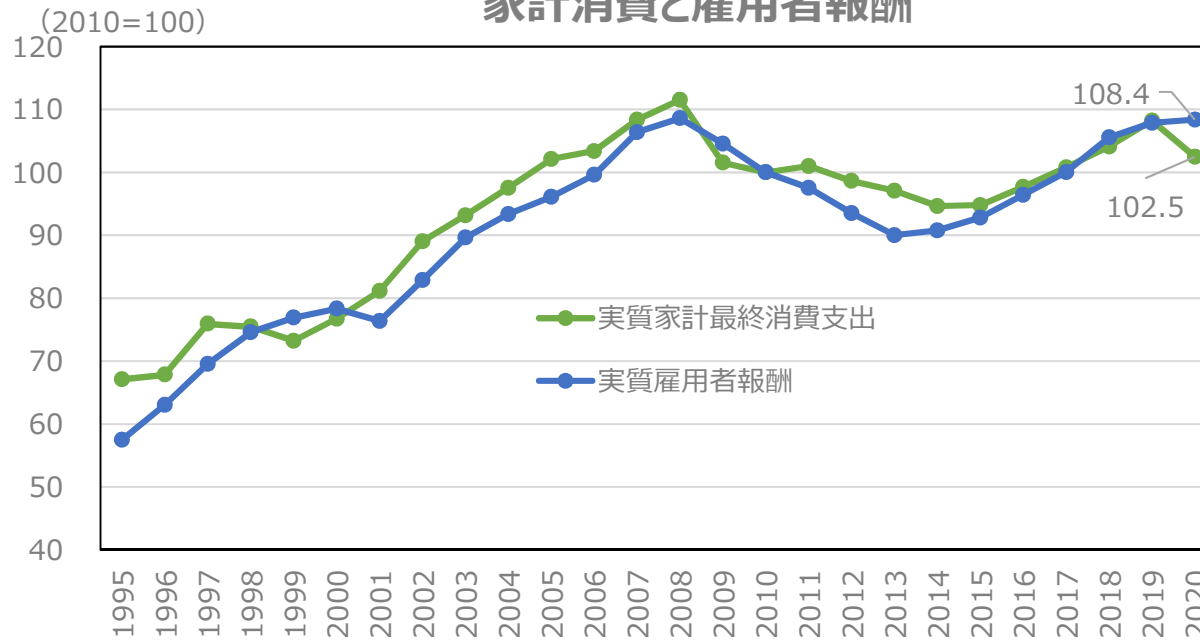


## 【前年比寄与度】

- ① 2020年の減少は、輸出減の影響が最大の要因。
- ② 2021年第2四半期の増加は、輸出及び民間最終消費支出の増加が大きな要因。

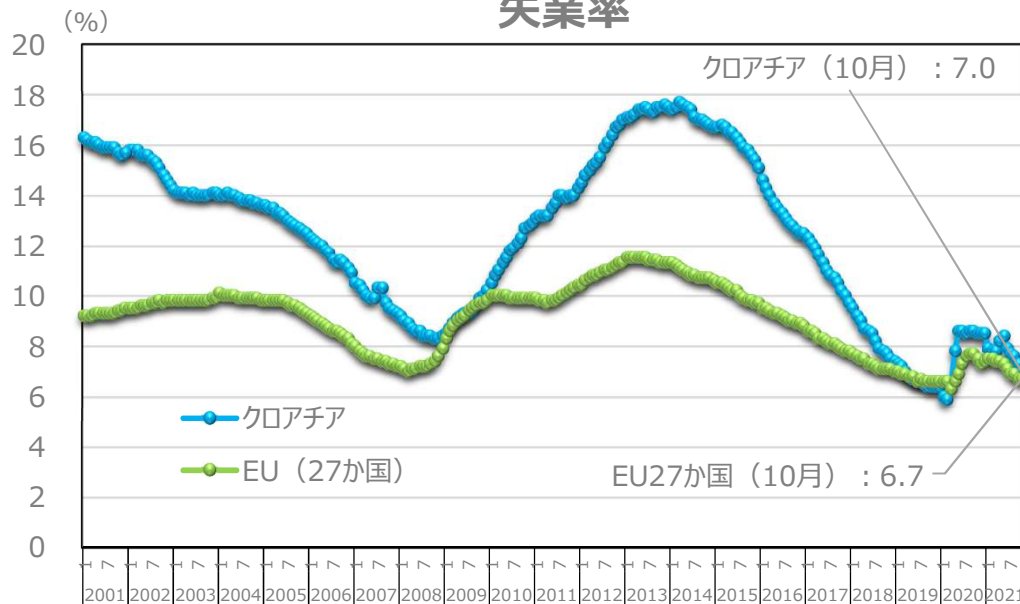
# 2 経済概況 ～ 消費、失業率、消費者物価 ～

## 家計消費と雇業者報酬



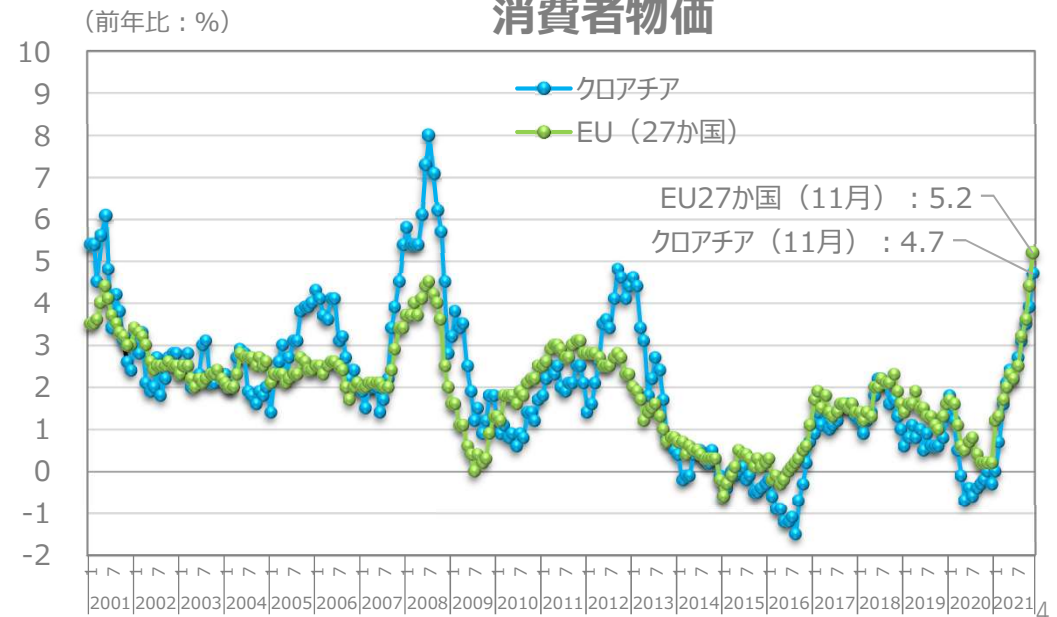
(備考) EUROSTAT。雇業者報酬は家計最終消費支出デフレーターにより実質化。

## 失業率



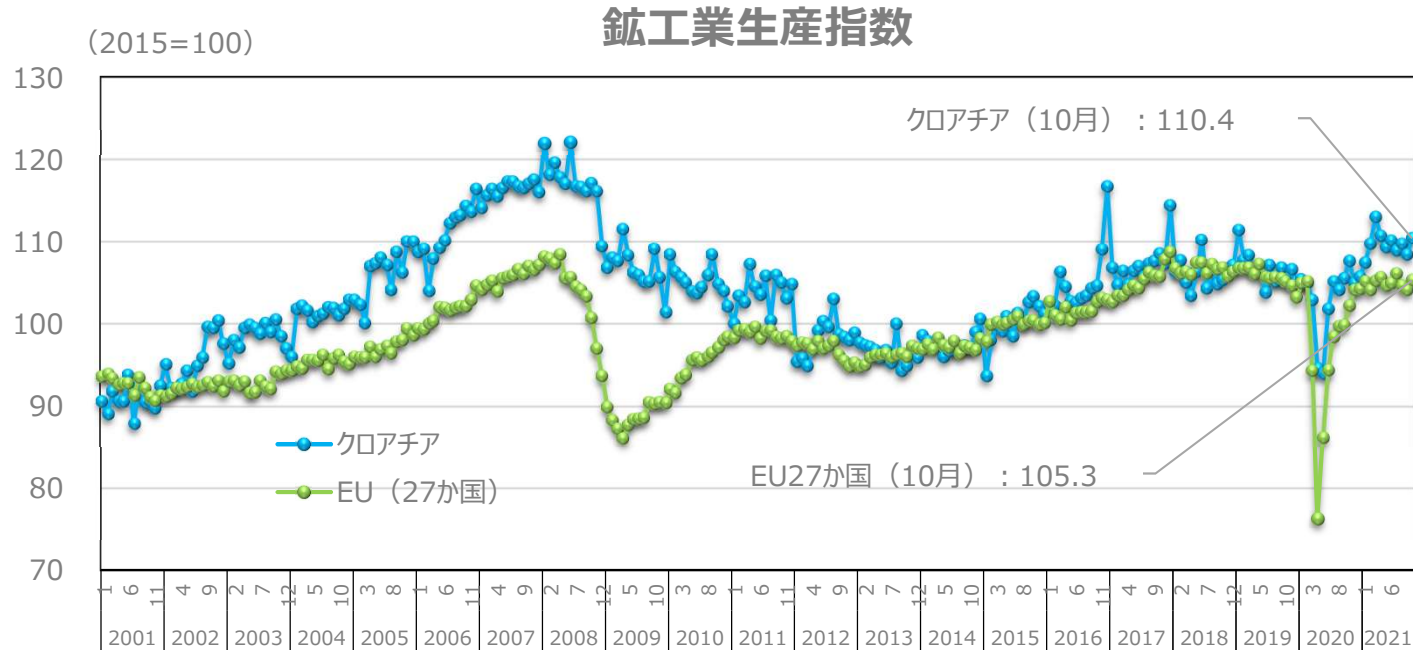
(備考) EUROSTAT。ILO基準。季節調整値。

## 消費者物価

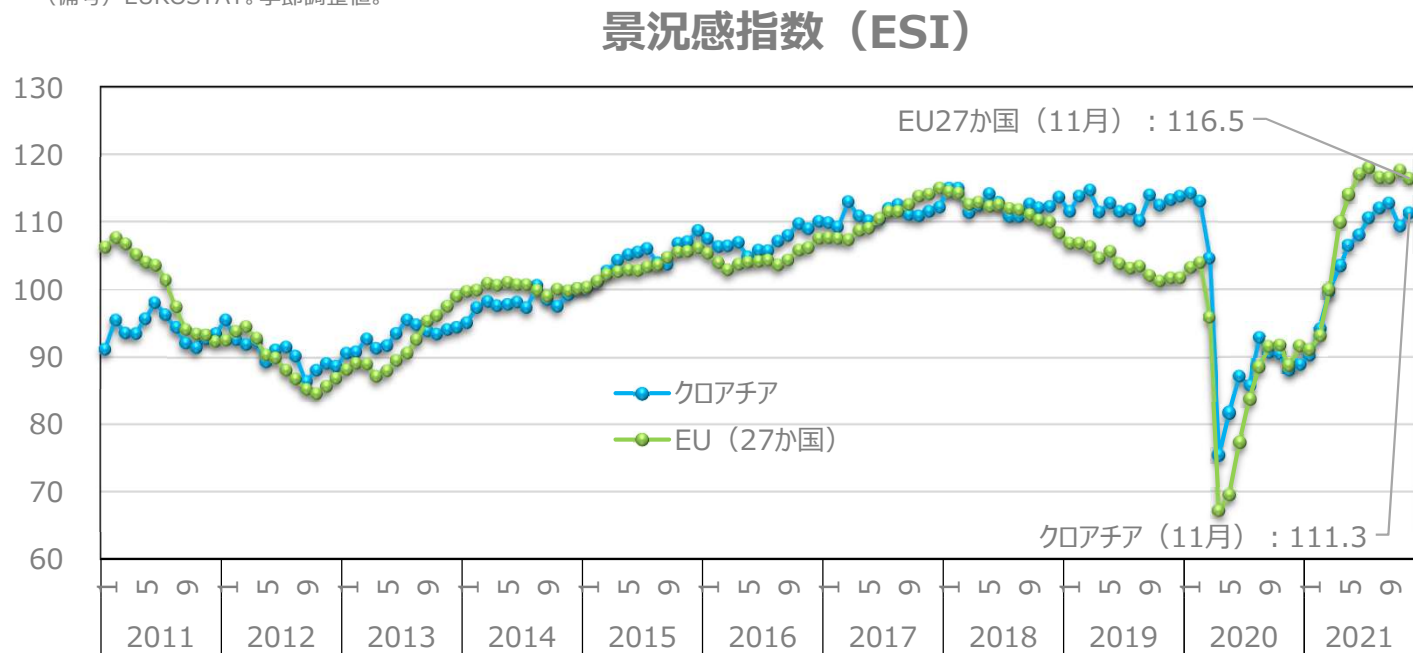


(備考) EUROSTAT。

## 2 経済概況 ～ 鉱工業生産、景況感 ～

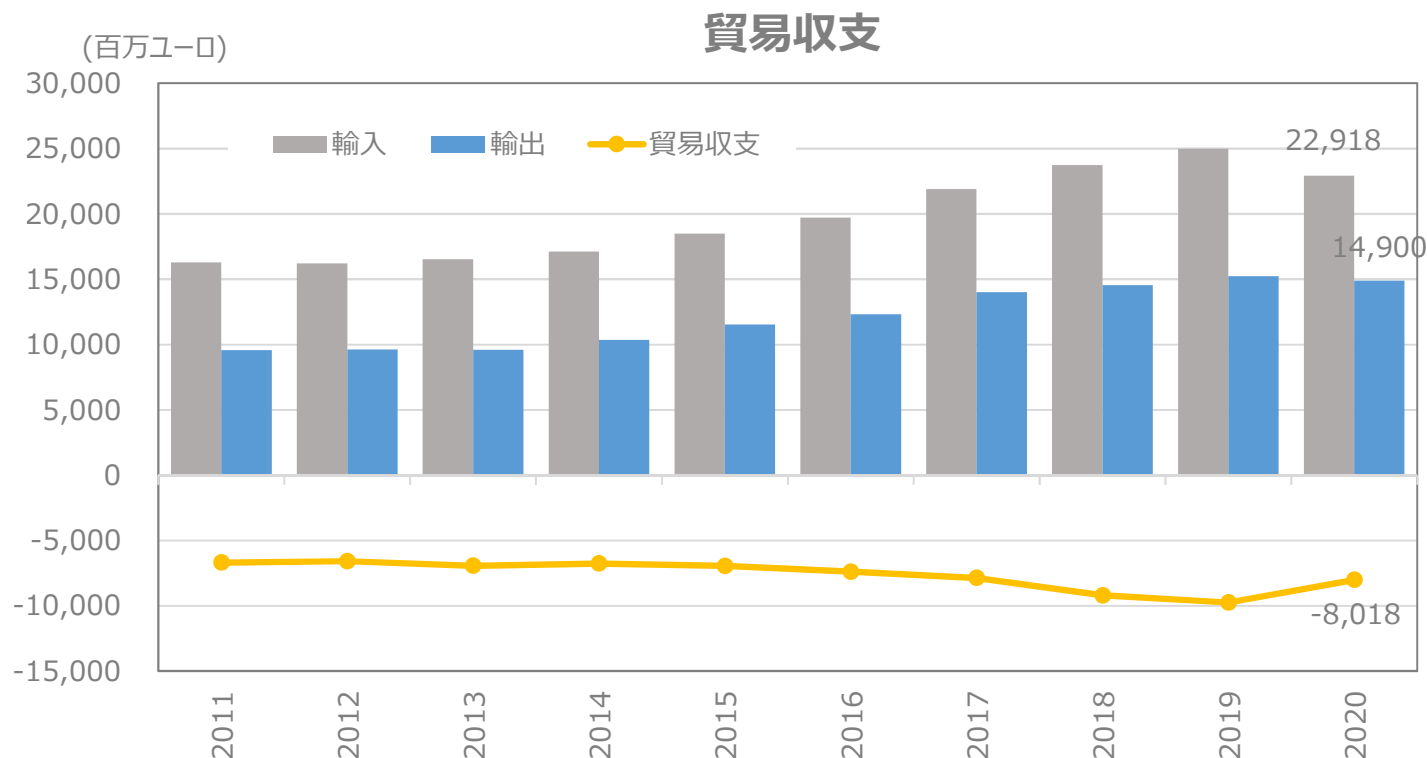


(備考) EUROSTAT。季節調整値。



(備考) EUROSTAT。季節調整値。2000年～2020年の平均を100。

## 2 経済概況 ～ 貿易収支① ～



(備考) クロアチア統計局

主要貿易相手国 (上位10か国、2020年)

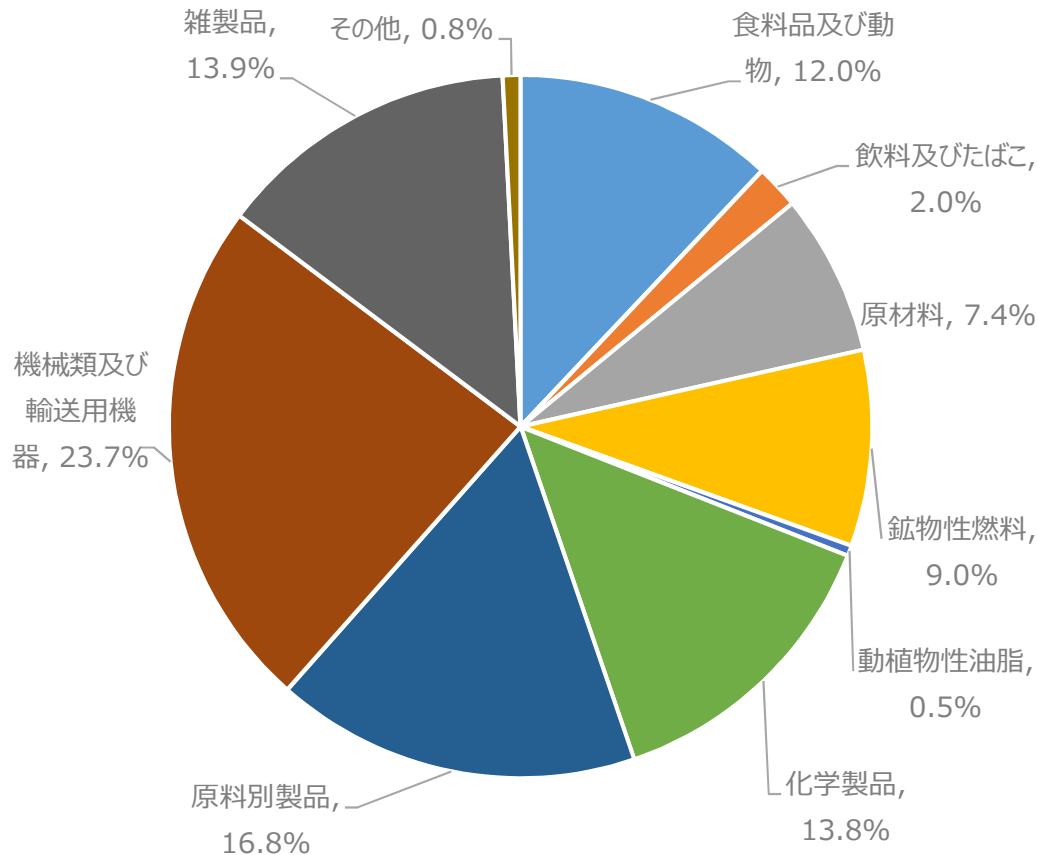
(百万ユーロ)

順位	相手国	貿易総額 (輸出額+輸入額)	クロアチア全体に占める シェア (%)	輸出額	輸入額	輸出-輸入
1	ドイツ	5,411	14.3	1,909	3,502	▲ 1,593
2	イタリア	4,688	12.4	1,863	2,824	▲ 961
3	スロベニア	4,141	11.0	1,545	2,597	▲ 1,052
4	ハンガリー	2,833	7.5	1,063	1,770	▲ 707
5	オーストリア	2,369	6.3	856	1,513	▲ 657
6	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1,946	5.1	1,276	670	606
7	セルビア	1,286	3.4	697	588	109
8	ポーランド	1,204	3.2	281	923	▲ 642
9	中国	1,146	3.0	85	1,060	▲ 975
10	オランダ	1,118	3.0	223	896	▲ 673

(備考) クロアチア統計局

## 2 経済概況 ～ 貿易収支② ～

### 輸出額の品目分類（2020年）



#### 主な輸出品目

機械類及び輸送用機器：自動車及び関連部品、変圧器など

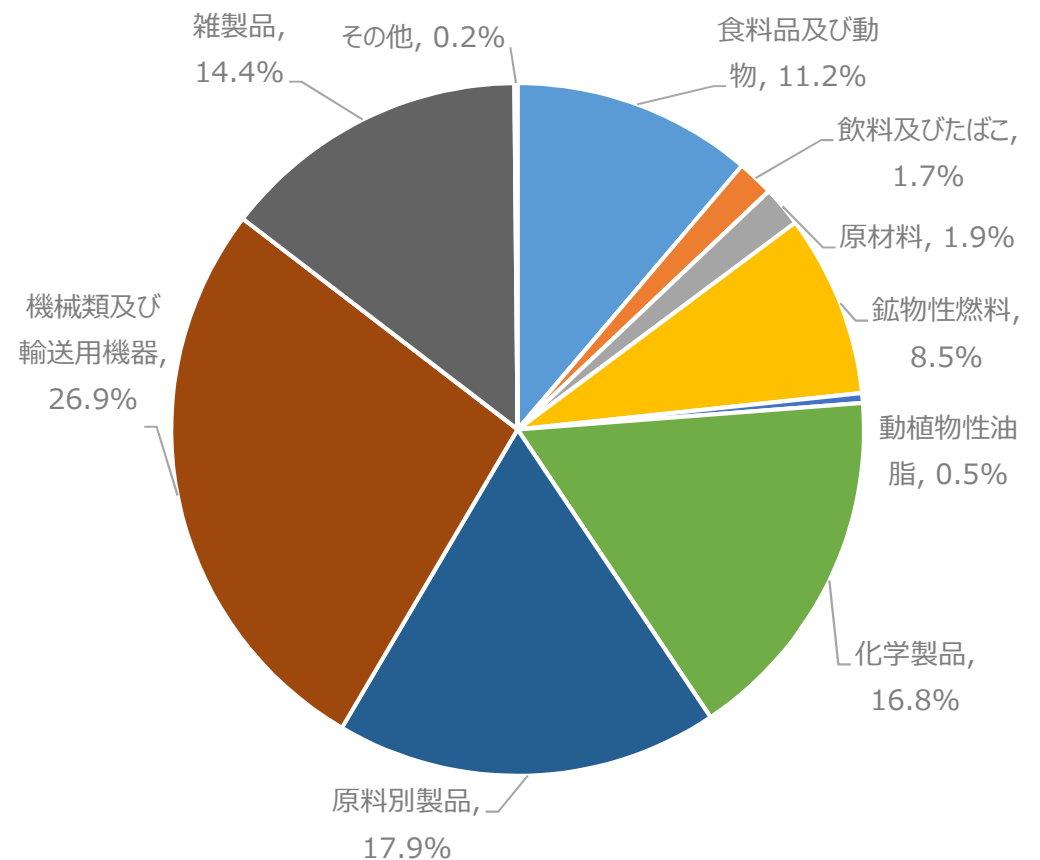
原料別製品：鉄鋼製品、アルミニウム製品など

化学製品：医薬品など

燃料物性燃料：原油・石油など

原材料：木材、木質ペレットなど

### 輸入額の品目分類（2020年）



#### 主な輸入品目

機械類及び輸送用機器：自動車、携帯電話など

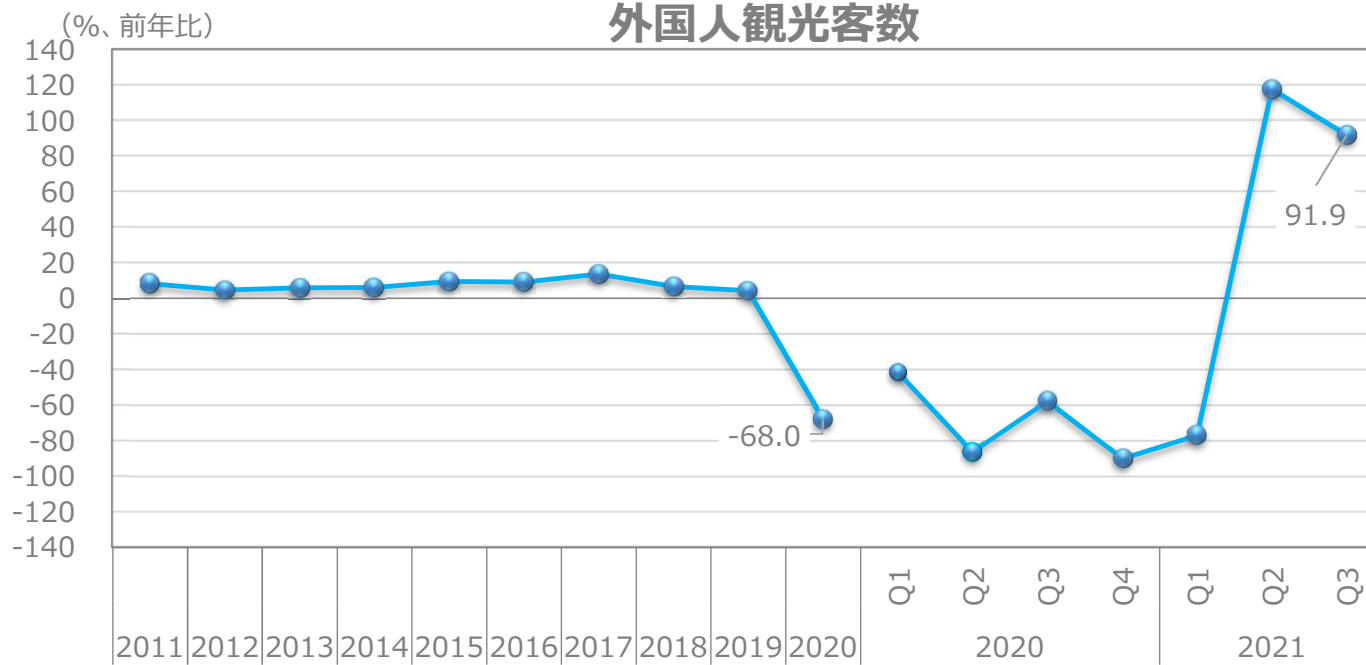
原料別製品：鉄鋼製品など

化学製品：医薬品など

燃料物性燃料：原油・石油など



## 2 経済概況 ～ 観光 ～



①外国人観光客数は、コロナ流行の影響等により、2020年は前年比68%減。2021年夏の観光シーズンは2020年に比し好調に推移。

②国別の観光客数（2019年）は、ドイツが最も多く、次いでスロベニア、オーストリアとなっている。

③世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)「2021 Annual Research」によると、GDPに占める観光業の割合は、24.3%（2019年）から10.2%（2020年）に減少。

(備考) クロアチア統計局

### 外国人観光客数と延べ宿泊者数（上位10か国、2019年）

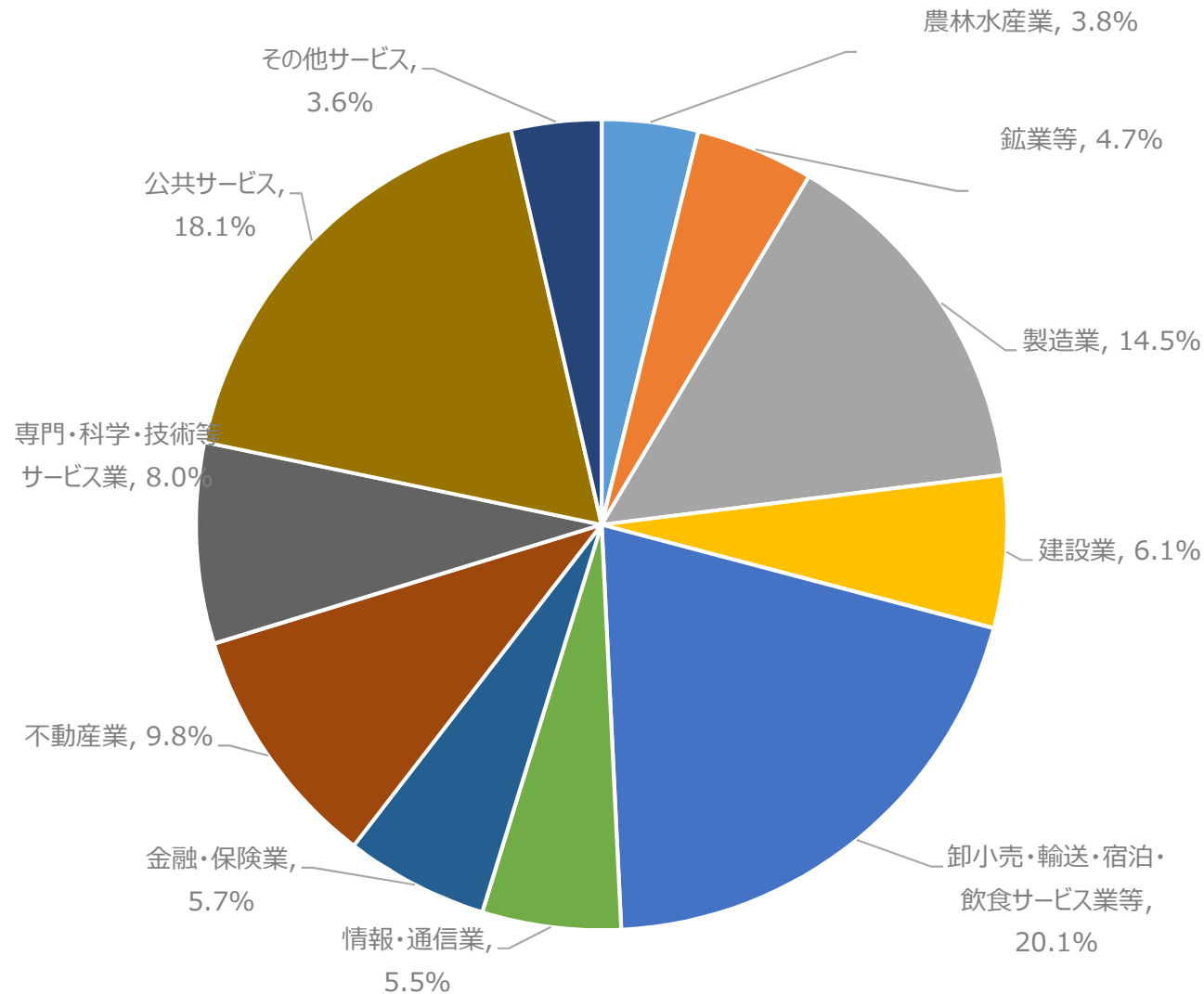
順位	国	外国人観光客数	クロアチア全体に占めるシェア (%)
1	ドイツ	2,881,284	16.6
2	スロベニア	1,426,246	8.2
3	オーストリア	1,385,004	8.0
4	イタリア	1,175,069	6.8
5	ポーランド	932,678	5.4
6	イギリス	859,189	5.0
7	チェコ	742,248	4.3
8	フランス	629,231	3.6
9	アメリカ	626,035	3.6
10	ハンガリー	617,391	3.6

順位	国	外国人観光客延べ宿泊者数	クロアチア全体に占めるシェア (%)
1	ドイツ	19,944,549	23.7
2	スロベニア	7,503,053	8.9
3	オーストリア	7,056,926	8.4
4	ポーランド	5,860,815	7.0
5	イタリア	5,141,064	6.1
6	チェコ	4,985,029	5.9
7	イギリス	4,326,925	5.1
8	ハンガリー	3,043,319	3.6
9	オランダ	2,882,701	3.4
10	スロバキア	2,817,452	3.3

(備考) クロアチア統計局。延べ宿泊者数は、各観光客の宿泊日数を合計した値。

## 2 経済概況 ～ 産業別GDP ～

### 産業別GDP（2020年）



(備考) クロアチア統計局。名目値。



Zagreb\_foto\_Romeo\_Ibrišević/Ministarstvo turizma i sporta/



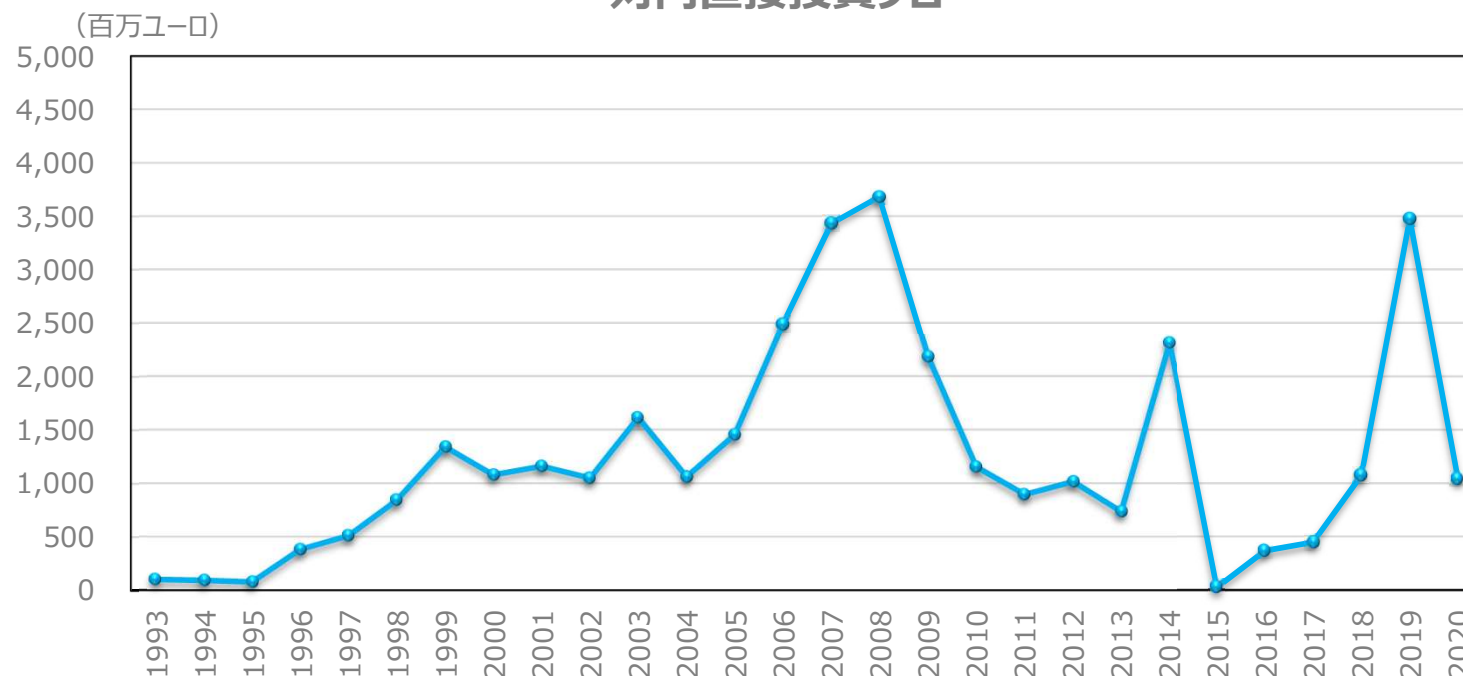
Rijeka\_foto\_Nikola Šolić/Ministarstvo turizma i sporta/



Sveta Nedelja\_foto\_Romeo\_Ibrišević/Ministarstvo turizma i sporta/

## 2 経済概況 ～ 対内直接投資 ～

### 対内直接投資フロー



(備考) クロアチア国立銀行

対内直接投資フロー (1993年～2020年の累計。国別上位10カ国。)

対内直接投資フロー (1993年～2020年の累計。産業別上位10業種)

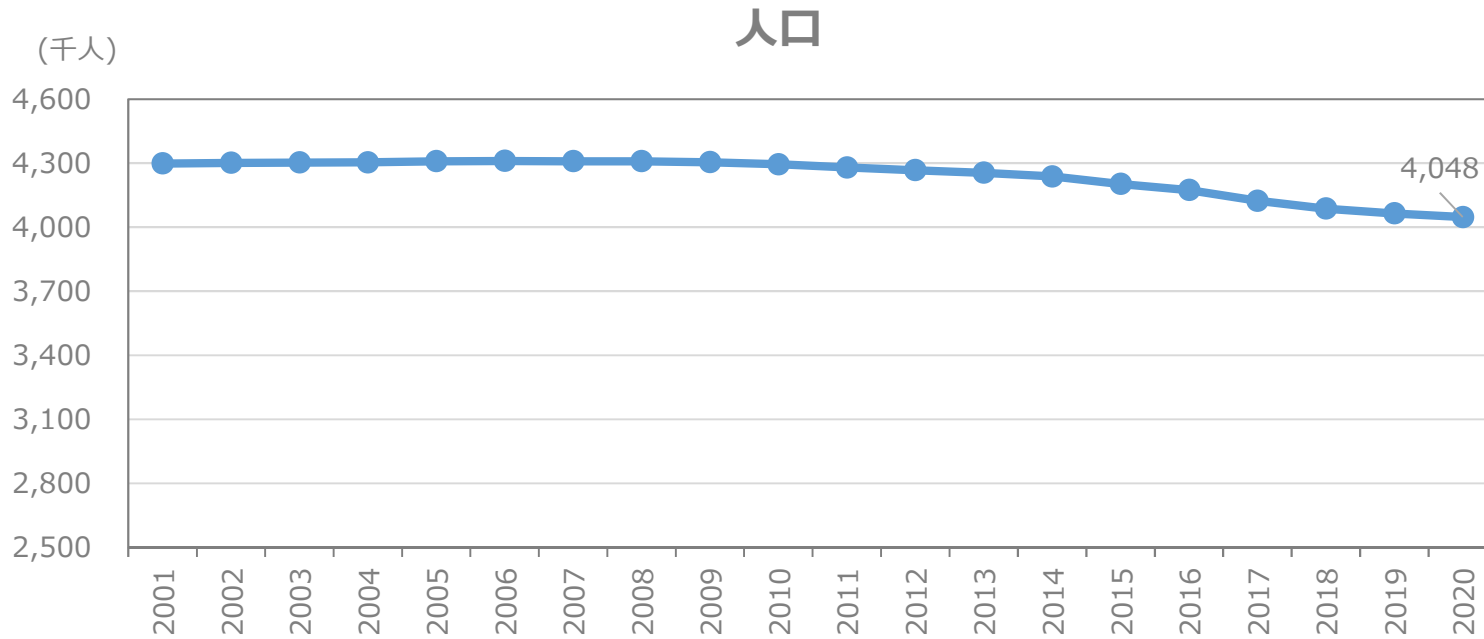
順位	国	投資額 (百万ユーロ)	クロアチア全体に 占めるシェア(%)
1	オランダ	6,357	18.1
2	オーストリア	4,626	13.2
3	ルクセンブルク	3,821	10.9
4	ドイツ	3,547	10.1
5	イタリア	3,414	9.7
6	ハンガリー	2,689	7.7
7	スロベニア	1,535	4.4
8	イギリス	998	2.8
9	フランス	989	2.8
10	ベルギー	721	2.1

(備考) クロアチア国立銀行。

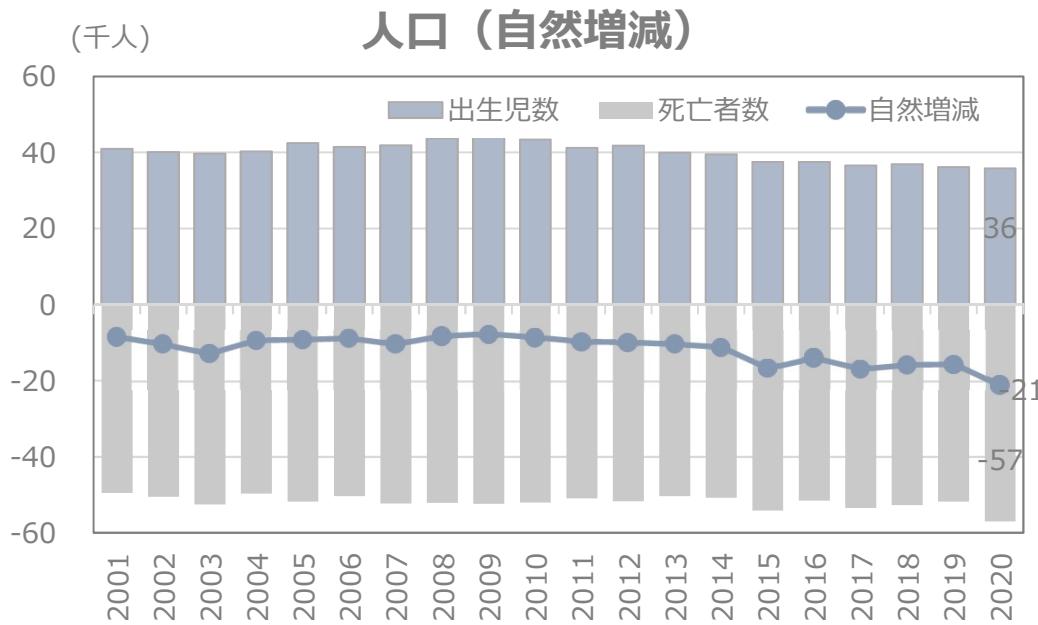
順位	業種	投資額 (百万ユーロ)	クロアチア全体に 占めるシェア(%)
1	金融サービス業 (保険業等を除く)	9,207	26.2
2	不動産業	5,157	14.7
3	卸売業 (自動車等を除く)	2,723	7.8
4	小売業 (自動車等を除く)	2,039	5.8
5	通信業	1,934	5.5
6	宿泊業	1,520	4.3
7	石炭及び精製石油製品製造業	1,266	3.6
8	基礎医薬品及び医薬調合品製造業	1,101	3.1
9	建築工事業	1,192	3.4
10	その他の非金属鉱物製品製造業	765	2.2

(備考) クロアチア国立銀行。

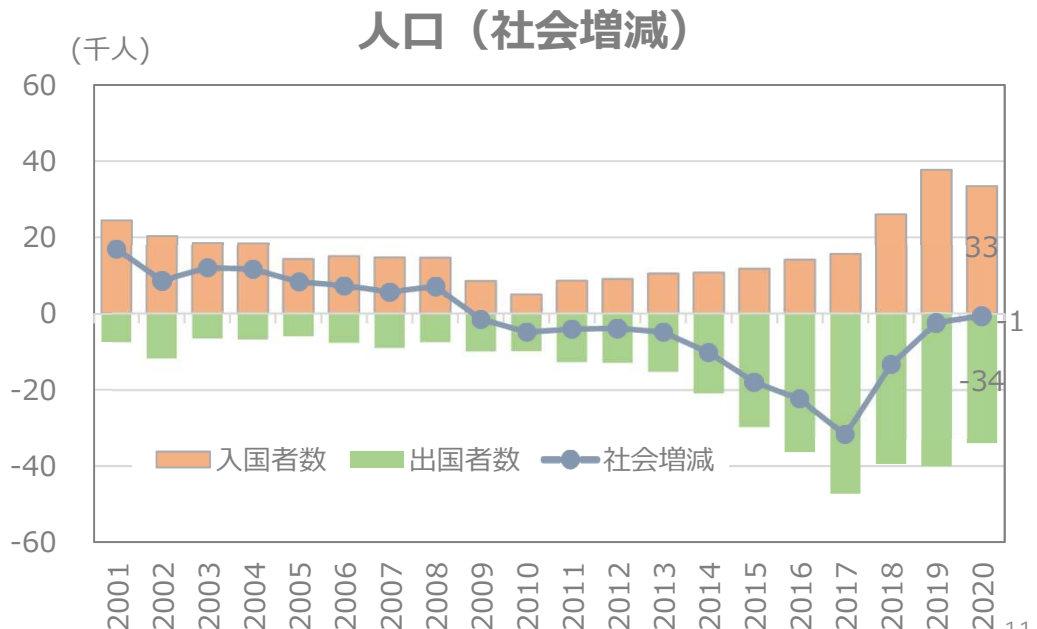
## 2 経済概況 ～ 人口① ～



(備考) クロアチア統計局。数値は年央の推計値。



(備考) クロアチア統計局

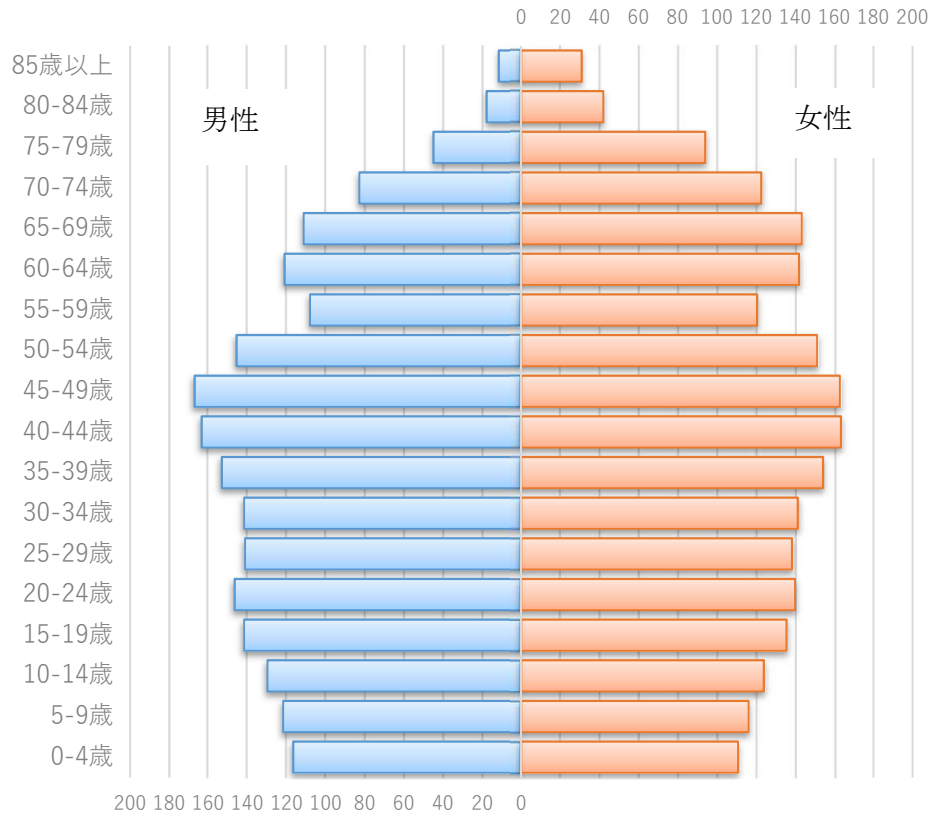


(備考) クロアチア統計局

# 2 経済概況 ～ 人口② ～

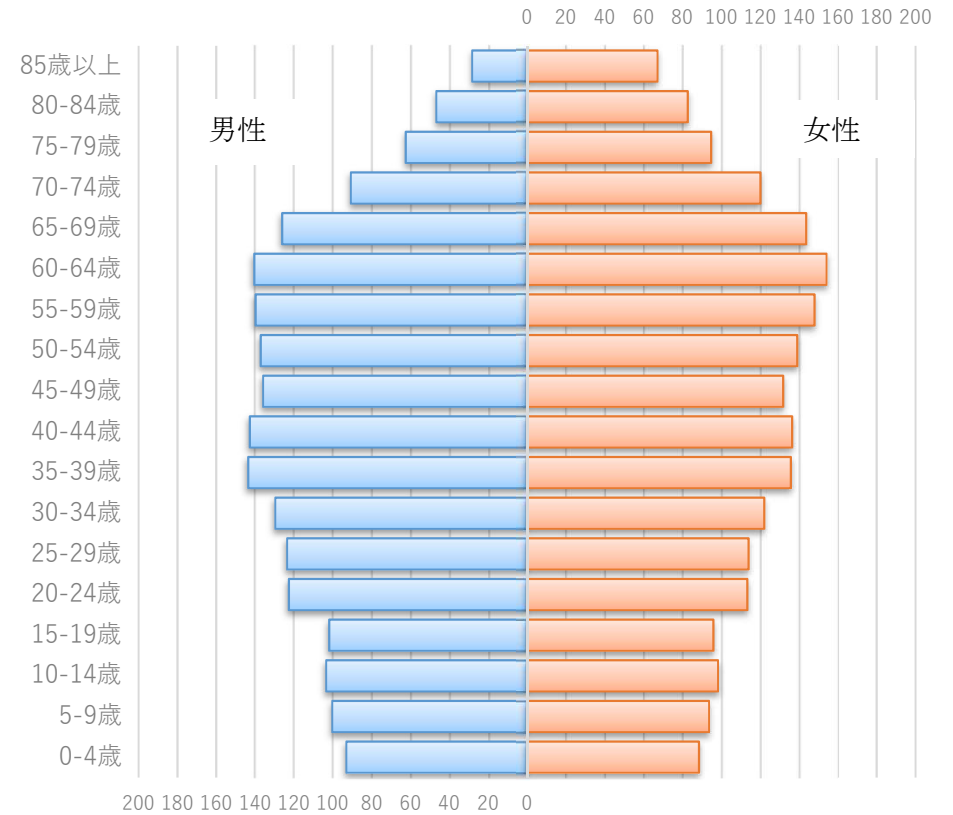
人口ピラミッド（2001年）

（単位：千人）



人口ピラミッド（2020年）

（単位：千人）



65歳以上人口の割合は、16%（2001年）から21%（2020年）に増加。

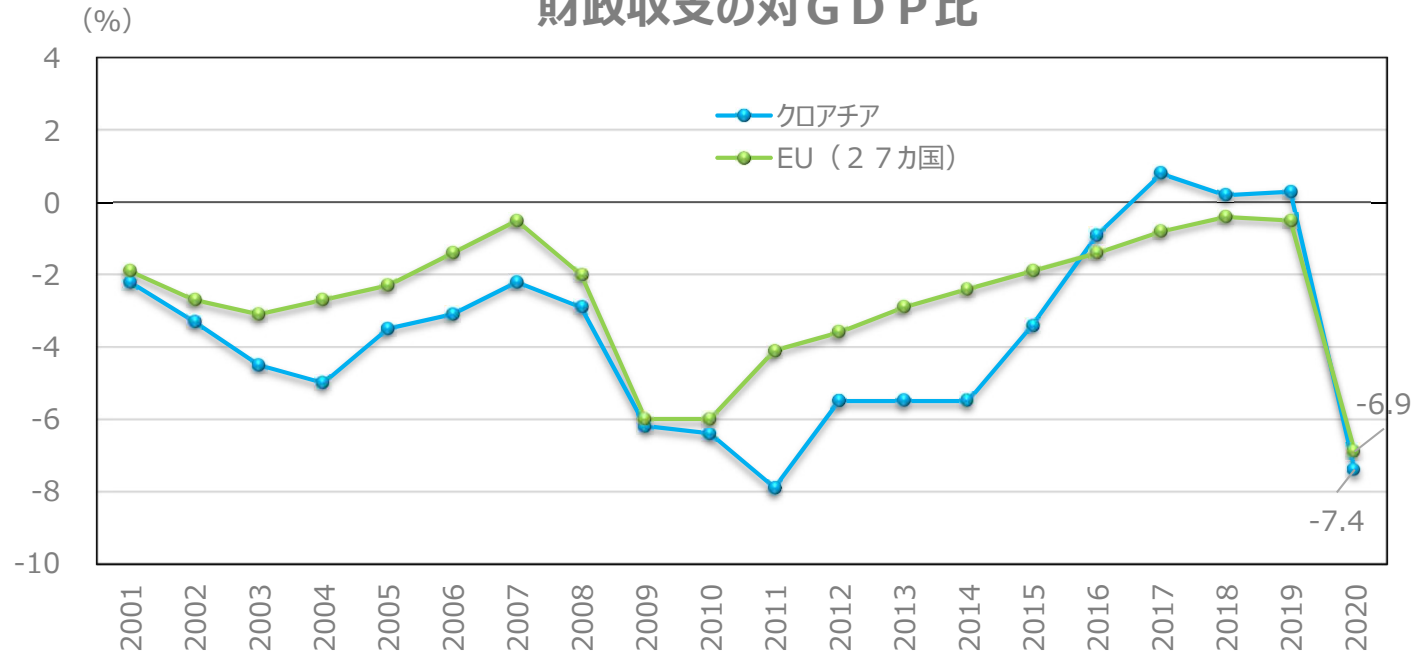
（備考）クロアチア統計局

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
合計特殊出生率	1.47	1.50	1.46	1.41	1.52	1.46	1.46	1.41	1.43	1.42	1.47	1.47	1.48

（備考）クロアチア統計局

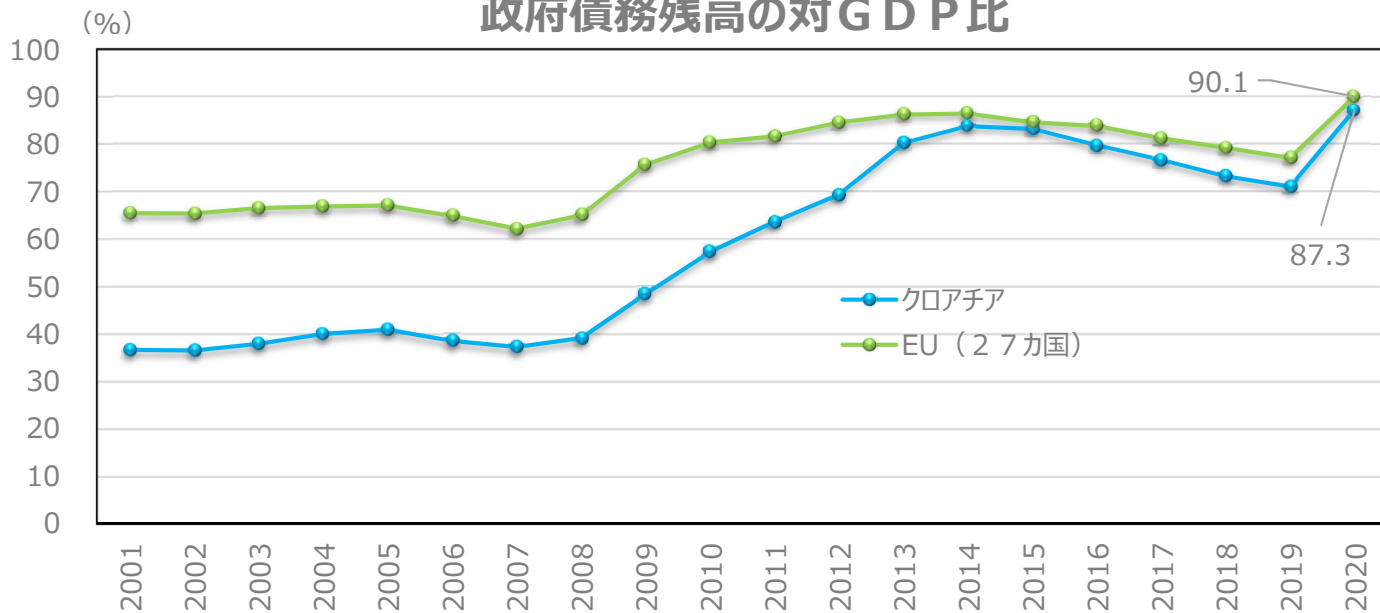
## 2 経済概況 ～ 財政 ～

### 財政収支の対GDP比



(備考) EUROSTAT

### 政府債務残高の対GDP比



(備考) EUROSTAT

### 3 日・クロアチア経済関係の概況 ～ 基本情報 ～

#### 主なタイムライン

- 1993年 外交関係開設
- 1998年 在クロアチア日本国大使館開設
- 1999年～2012年 草の根・人間の安全保障無償資金協力（ODA）
- 2013年 クロアチアのEU加盟
- 2016年 在スプリット名誉総領事館開設
- 2018年11月 日クロアチア航空協定の交渉開始
- 2019年 2月 日EU経済連携協定（EPA）の効力発生
- 9月 日クロアチア租税協定の効力発生
- 12月 日EU戦略的パートナーシップ（SPA）のクロアチア議会承認
- 2023年 外交関係開設30周年
- 2025年 大阪・関西万博

※通商航海条約、文化協力協定、科学技術協定を旧ユーゴスラビアより継承。

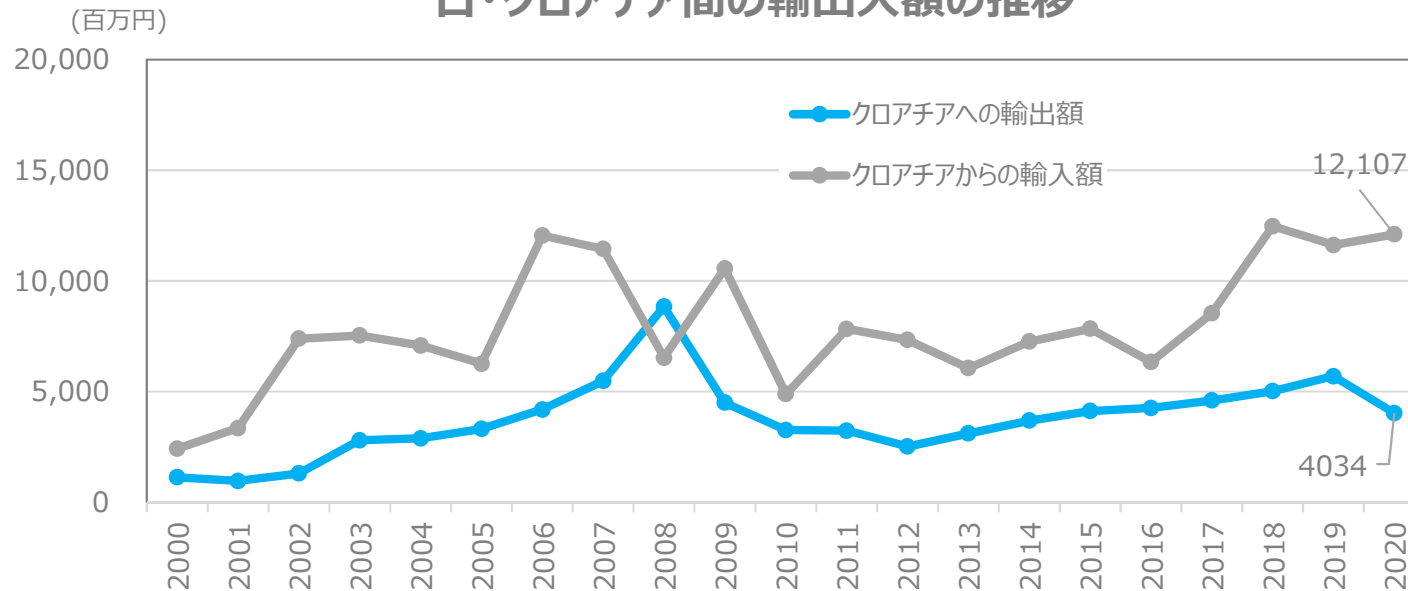
#### 人口、GDPの比較

2020年	クロアチア	日本
人口	404.7万人	1億2,583万人
名目GDP	572億USドル	5兆577億USドル
一人あたり名目GDP	14,134USドル	40,193USドル

（備考）世界銀行「World Development Indicators」（Last Updated: 12/16/2021）

### 3 日・クロアチア経済関係の概況 ～ 貿易① ～

日・クロアチア間の輸出入額の推移



(備考) 財務省「貿易統計」

クロアチアからの主な輸入品 (2020年)

	内容	金額 (千円)	輸入総額に占める割合 (%)
1	有機化合物	5,546,321	45.8
2	まぐろ	4,580,161	37.8
3	木材	336,197	2.8
4	衣類	226,364	1.9
5	抗生物質	111,579	0.9

(備考) 財務省「貿易統計 国別概況品別表」より作成。

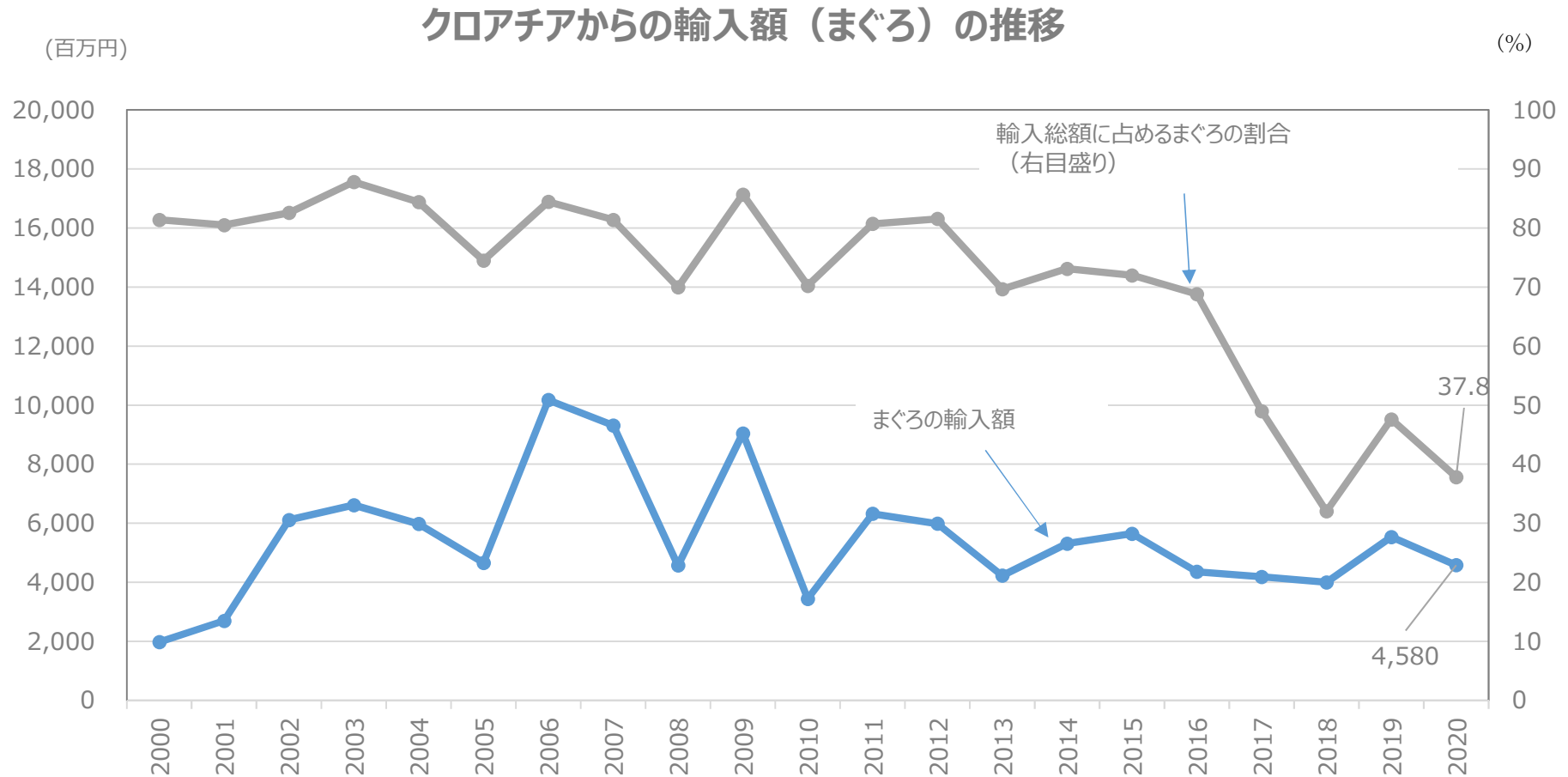
クロアチアへの主な輸出品 (2020年)

	内容	金額 (千円)	輸出総額に占める割合 (%)
1	自動車	1,018,241	25.2
2	鉄鋼のフラットロール製品	791,931	19.6
3	有機化合物	394,692	9.8
4	原動機	386,279	9.6
5	二輪自動車類	225,894	5.6

(備考) 財務省「貿易統計 国別概況品別表」より作成。



### 3 日・クロアチア経済関係の概況 ～ 貿易② ～



(備考) 財務省「貿易統計」

### 3 日・クロアチア経済関係の概況 ～貿易③、観光、直接投資～

#### クロアチアの貿易総額（2020年。国別。）

（百万ユーロ）

国名	貿易総額 (輸出額+輸入額)	クロアチア全体に占める シェア (%)	輸出額	輸入額	輸出-輸入
日本	73	0.19	42	31	11
(参考) 地理的に日本と近い国の例					
韓国	64	0.17	8	56	▲ 48
中国	1,146	3.03	85	1,060	▲ 975

(備考) クロアチア統計局

#### クロアチアの外国人観光客数と延べ宿泊者数（2019年。国別。）

国名	観光客数	クロアチア全体に占める シェア (%)
日本	150,217	0.9
(参考) 地理的に日本と近い国の例		
韓国	403,613	2.3
中国	279,118	1.6

(備考) クロアチア統計局。延べ宿泊者数は、各観光客の宿泊日数を考慮した値。

国名	延べ宿泊者数	クロアチア全体に占める シェア (%)
日本	233,312	0.3
(参考)		
韓国	511,378	0.6
中国	410,042	0.5

#### 日本からクロアチアへの直接投資フロー（2005年～2020年の合計）

国名	クロアチア全体に占めるシェア (%)
日本	0.03
(参考) 地理的に日本と近い国の例	
韓国	0.26
中国	0.46

(備考) クロアチア国立銀行。日本のデータが利用可能な2005年から2020年までの累計。

# 4 クロアチアの投資環境 ～ユーロ導入・シェンゲン圏・EU資金～

## ユーロ導入の動き

現在、クロアチア政府は、2023年1月1日のユーロ導入を目指している。

2020年7月10日

ユーロ導入に向けた取組の1つである「為替相場メカニズム（ERM II）」に参加。少なくとも2年間、自国通貨の変動幅を、対ユーロ中心交換レート（1ユーロ=7.53450クーナ）の±15%以内に抑える。

2020年12月23日

政府は、法定通貨をクーナからユーロに切り替えるために必要な取組をまとめた国家計画を決定。

## シェンゲン圏加盟の動き

現在、クロアチア政府は、2022年中のシェンゲン圏加盟を目指している。

2015年3月

政府は、シェンゲン圏加盟の評価プロセス開始準備の宣言書を欧州委員会に提出。

2019年10月

欧州委員会は、2016年6月から2019年5月の間に実施された評価プロセスの結果を踏まえ、欧州理事会にクロアチアのシェンゲン圏加盟に向けた議論を開始することを推奨。

2021年6月

欧州委員会は、十分に機能する強靱なシェンゲン圏に向けた戦略（A strategy towards a fully functioning and resilient Schengen area）を公表し、その中でクロアチアの加盟に向けた必要な手続きを欧州理事会が執ることを要請。

2021年12月

EU内務理事会は、クロアチアがシェンゲン圏加盟の準備が整っているとの結論文書を採択。

## EU資金の活用

クロアチアは、EU資金を活用したインフラ・プロジェクト等を実施。2020年の2度の大地震からの震災復興財源としても活用。

2020年7月

特別欧州理事会は、コロナ危機からの経済復興のための一時的な緊急復興措置である復興基金（贈与3,900億ユーロ、融資3,600億ユーロ）及び次期多年度財政枠組「MFF」（1兆743億ユーロ）の総額1兆8,243億ユーロのEU予算パッケージに合意。復興基金の主要部である「復興・強靱化ファシリティ」に関し、クロアチアは贈与63億ユーロ、融資36億ユーロ（合計約100億ユーロ。クロアチアGDPの約20%。）が利用可能とされている。

2021年7月

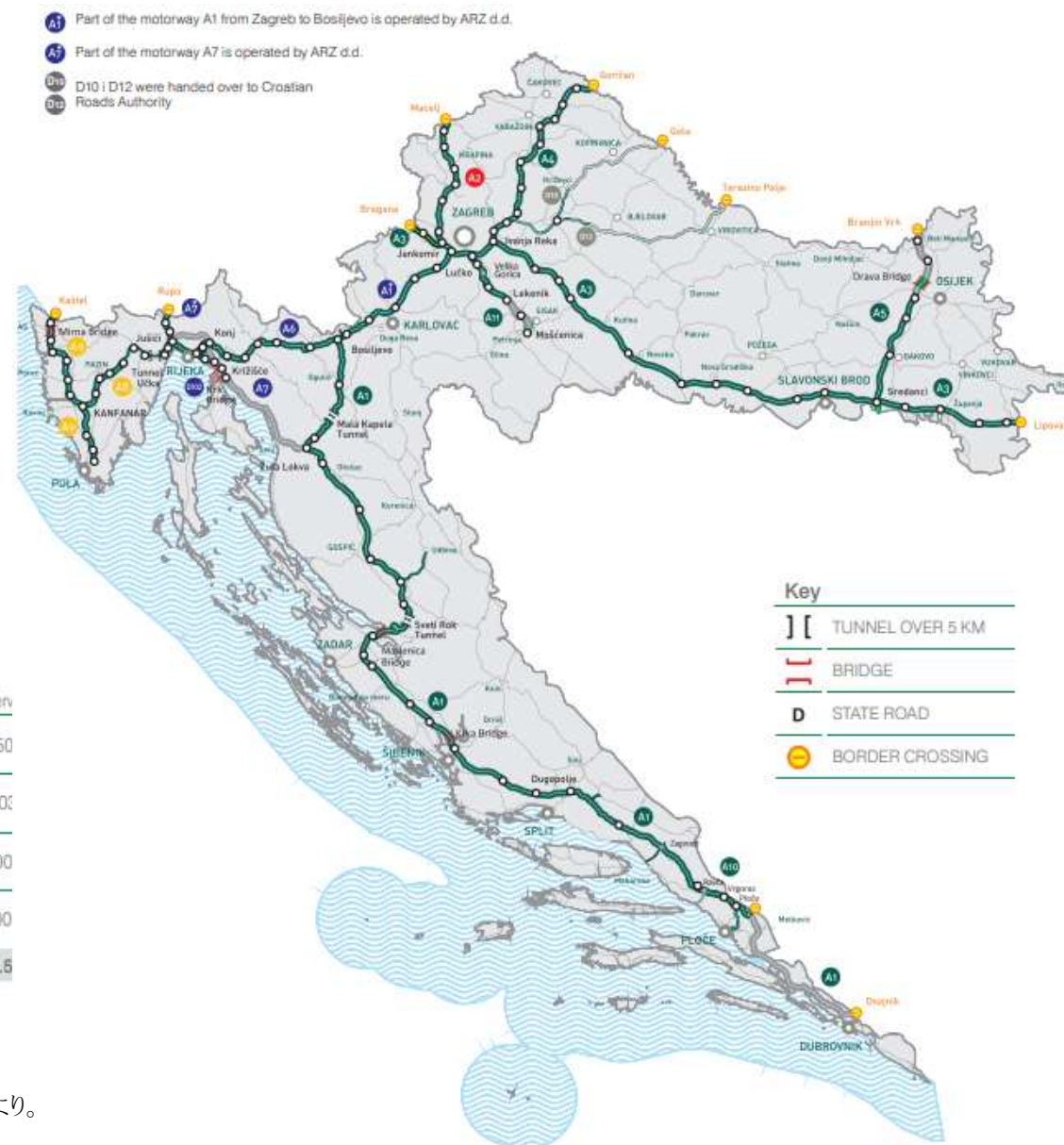
クロアチア政府は、復興・強靱化ファシリティを活用するために事業プロジェクト等をまとめた復興・強靱化計画を作成し、EU理事会の承認を受けた。<sup>18</sup>  
（復興・強靱化計画（クロアチア語）：[https://ec.europa.eu/info/files/recovery-and-resilience-plan-croatia\\_en](https://ec.europa.eu/info/files/recovery-and-resilience-plan-croatia_en)）

# 4 クロアチアの投資環境 ～インフラ①～

## 高速道路

○クロアチアの道路の広さや状態「Quality of road infrastructure」は、141カ国中13位。  
 (世界経済フォーラム「国際競争力レポート(2019)より)

○全国的に高速道路網が整備されており、車でザグレブからリャブリャナまでは2時間程度、ブダペスト、ベオグラード、ウィーンまでは4～5時間程度。



### Motorways in the Republic of Croatia

#### Network and companies

Company	Motorways	Status of construction	Km in serv
HRVATSKE AUTOCESTE d.o.o.	A1, A3, A4, A5, A16, A17	IN SERVICE IN CONSTRUCTION	918.50
AUTOCESTA RIJEKA-ZAGREB d.d.	A1, A5, A7, D10	IN PROJECT	187.00
BINA-ISTRA d.d.	A6, A8		141.00
AUTOCESTA ZAGREB-MACELJ d.o.o.	A2		60.00
<b>TOTAL in service as per 31/12/2020</b>			<b>1,306.5</b>

(備考) THE CROATIAN ASSOCIATION OF TOLL MOTORWAYS CONCESSIONAIRES 「NATIONAL REPORT ON MOTORWAYS 2020」より。  
<http://www.huka.hr/en/>

# 4 クロアチアの投資環境 ～インフラ②～

## 鉄道・港湾・空港

### 【鉄道】

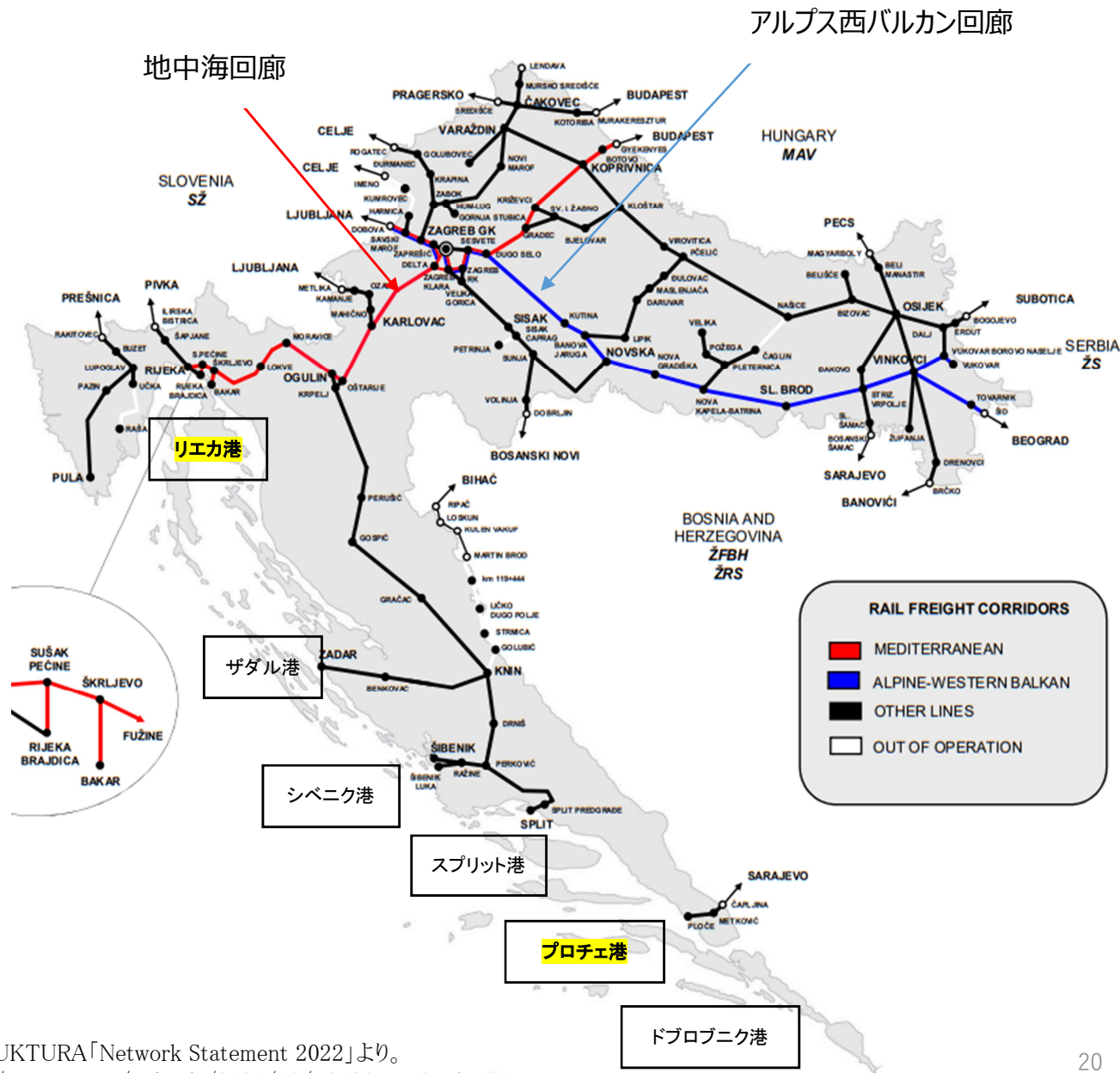
○欧州の鉄道貨物回廊ネットワーク (Rail Freight Corridors network) のうち、地中海回廊 (Mediterranean Corridor) 及びアルプス西バルカン回廊 (Alpine - Western Balkan Corridor) がクロアチアを通る。  
 ○全国的に鉄道網が整備されているが、その多くは単線であり老朽化。EU資金を活用した鉄道システムの近代化、複線化事業を実施中。

### 【港湾】

○クロアチアの主要な港は、主に貨物を扱うリエカ港、プロチェ港、シベニク港、主に乗客を扱うザダル港、スプリット港、ドブロブニク港。  
 ○リエカ港は、欧州横断運輸ネットワーク (TEN-T) の地中海回廊に位置づけられており、EU資金を活用した開発プロジェクトを実施中。プロチェ港は、TEN-Tの包括的ネットワークのうち、ブダペストとサラエボを縦断するネットワークの終着点。

### 【空港】

○9つの空港が所在 (ザグレブ空港、プーラ空港、リエカ空港、ザダル空港、スプリット空港、ドブロブニク空港、オシエク空港、ブラチ空港、ロシニ空港)



(備考) HŽ INFRASTRUKTURA「Network Statement 2022」より。  
[https://eng.hzinfra.hr/wp-content/uploads/2021/09/E2022\\_IL\\_NS.pdf](https://eng.hzinfra.hr/wp-content/uploads/2021/09/E2022_IL_NS.pdf)

# 4 クロアチアの投資環境 ～インフラ③～

## エネルギー

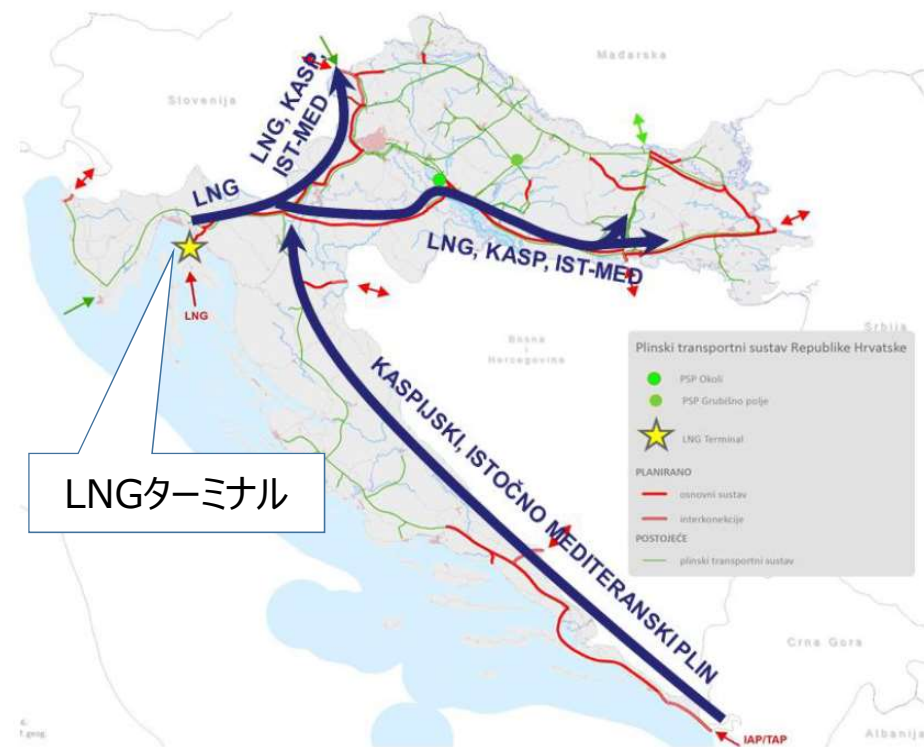
- ・電力の国内生産のうち46%が水力、20%が天然ガス。また、スロベニアにあるクルシュコ原子力発電所（同国と共同運営）の発電量のうち50%相当を同国から輸入している。
- ・クルク島にあるLNGターミナルは、2021年1月に運転開始。本ターミナルは、中・南東欧の天然ガス供給の安全性と多様化にとって重要とされ、国家戦略プロジェクトに位置付けられている。
- ・ターミナルの年間ガス供給能力は26億立方メートル。ハンガリー、スロベニアのほかセルビアといった非EUメンバー国に接続されているクロアチアのガス供給網が活用されている。

	単位：GWh	(参考) 国内生産に占める割合 (%)
国内生産	12760.1	100.0
水力発電	5932.6	46.5
風力発電	1467.3	11.5
太陽光発電	83.1	0.7
地熱発電	91.9	0.7
バイオマス発電	477.1	3.7
バイオガス発電	401.0	3.1
火力発電（石炭）	1639.4	12.8
火力発電（天然ガス）	2629.4	20.6
火力発電（石油）	38.3	0.3
輸入	9158.3	
輸出	3025.3	
総供給量	18893.3	
送配損失等	2791.8	
最終消費量	16101.5	

(備考) 経済・持続可能な開発省「ENERGY IN CROATIA 2019」より作成。

[http://www.eihp.hr/wp-content/uploads/2020/12/1\\_Energija\\_u\\_Hrvatskoj\\_2019-compressed-1.pdf](http://www.eihp.hr/wp-content/uploads/2020/12/1_Energija_u_Hrvatskoj_2019-compressed-1.pdf)

なお、輸入には、スロベニアにあるクルシュコ原子力発電所（同国と共同運営）の発電量のうち50%相当の2766.3GWhが含まれる。



4-24. Future development of the transmission system and projects in the function of diversification of supply and increase of efficiency of the transmission system

(備考) 経済・持続可能な開発省「Integrated National Energy and Climate Plan for the Republic of Croatia for the period 2021-2030」より。

## 4 クロアチアの投資環境 ～税率、人件費～

### 税率

法人税率 : 10%又は18%  
所得税率 : 20%又は30% (地方自治体による付加税率が0～18%の範囲内で別途上乘せ)  
付加価値税 : 25% (宿泊サービスや子供関連用品等の一部は13%、食料品等の一部は5%)  
社会保障費 : 36.5% (雇用者負担16.5%、被用者負担20%)

(参考) 日クロアチア租税協定 (2019年9月効力発生)

投資所得 (配当、利子及び使用料) については、源泉地国 (所得が生ずる国) における課税の上限 (限度税率) が設けられ又は課税が免除される。

配当 : 免税 (議決権保有割合25%以上・保有期間365日以上)

5% (その他)

利子 : 免税 (政府受取等)

5% (その他)

使用料 : 5%

(参考) 経済・持続可能な開発省「Investment Guide」(2021年1月)

([https://investcroatia.gov.hr/wp-content/uploads/2015/01/Investment\\_Guide\\_2021\\_web.pdf](https://investcroatia.gov.hr/wp-content/uploads/2015/01/Investment_Guide_2021_web.pdf))

クロアチア財務省租税局ウェブサイト<https://www.porezna-uprava.hr/en/Pages/default.aspx>

外務省ウェブサイト[https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4\\_006594.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006594.html)

### 人件費

平均給与 (月額。2018年)	クロアチア全体	ザグレブ市
税引前	1160.65ユーロ	1399.19ユーロ
税引後	830.73ユーロ	968.60ユーロ

高等学校に相当する中等教育機関では学生の99.7%が外国語として英語を学ぶ。1669年創立のザグレブ大学をはじめ国内には10の大学があり、高度な人材を労働市場に供給。

### その他

クロアチア経済会議所 (<https://investincroatia.hr/>) や経済・持続可能な開発省 (<https://investcroatia.gov.hr/en/>) のウェブサイトには、法人設立方法や投資案件など様々な情報が掲載されている。

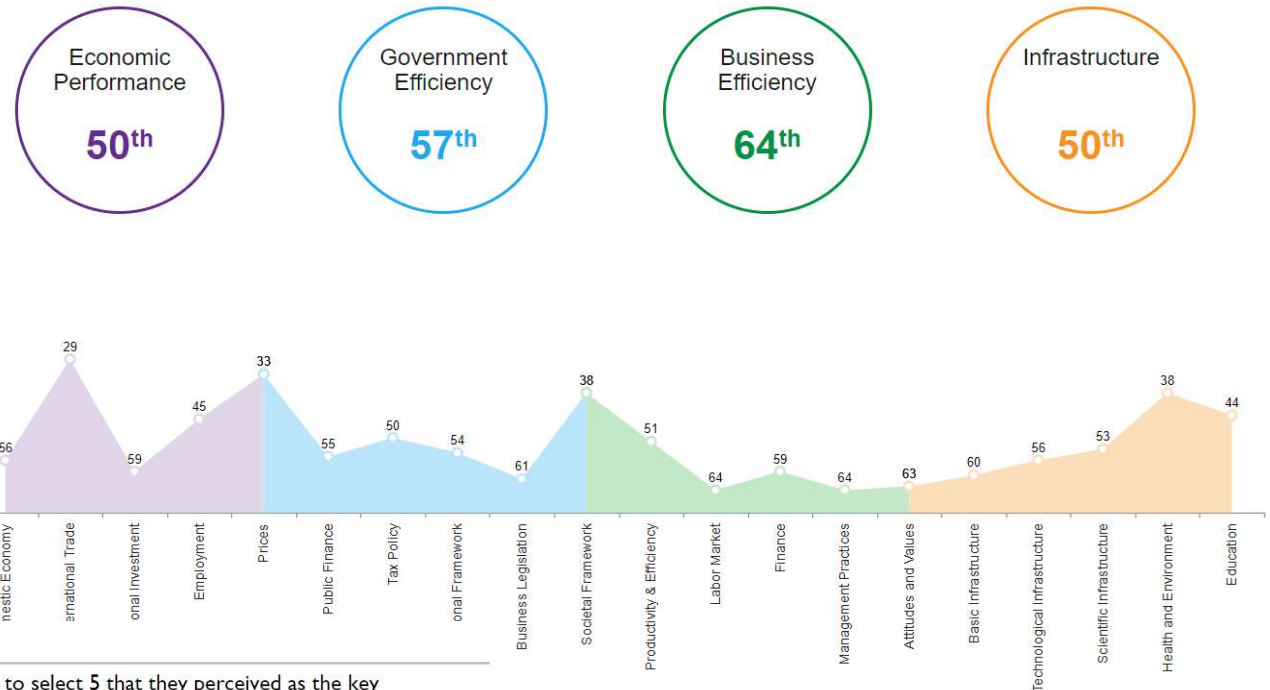
# 4 クロアチアの投資環境 ～ 競争ランキング① ～

## COMPETITIVENESS LANDSCAPE for 2021

Country profile comparison

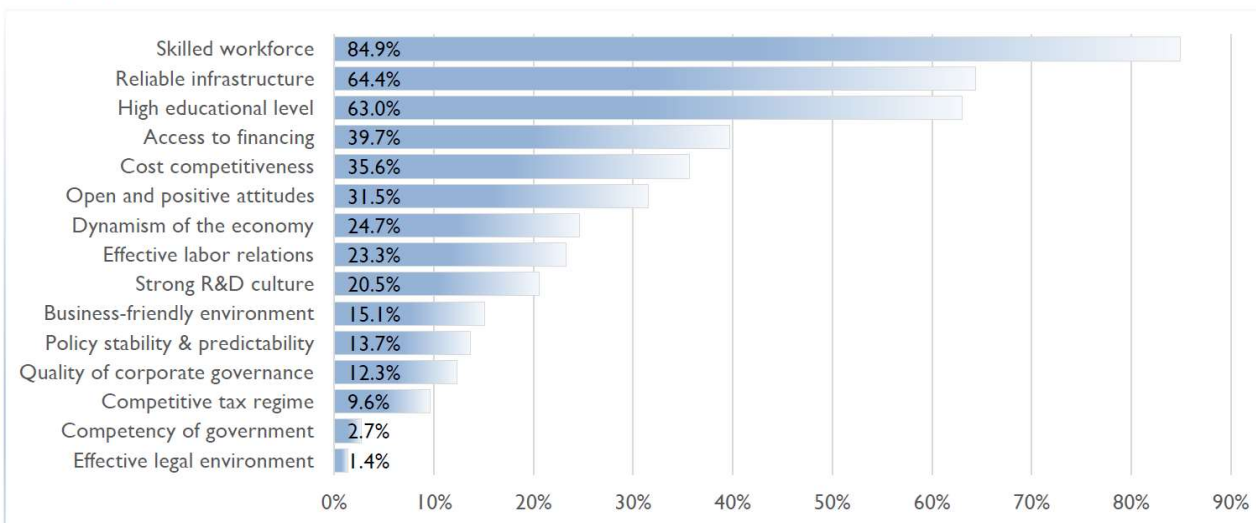
① 2021年IMD世界競争ランキングにおいて、クロアチアは64か国中59位。

② 4つの大項目別にみると、経済状況が50位、政府の効率性が57位、ビジネスの効率性が64位、インフラが50位となっている。



### KEY ATTRACTIVENESS INDICATORS

From a list of 15 indicators, respondents of the Executive Opinion Survey were asked to select 5 that they perceived as the key attractiveness factors of their economy. The chart shows the percentage of responses per indicator from the highest number of responses to the lowest.



③ 経営者層へのアンケート調査では、クロアチアの魅力的な要素として、「Skilled workforce」(84.9%)、「Reliable infrastructure」(64.4%)を選択する者が多いが、「Effective legal environment」(1.4%)、「Competency of government」(2.7%)を選択する者は少ない。

(備考) 「IMD世界競争ランキング」ウェブサイトより。



# 4 クロアチアの投資環境 ～ 競争力ランキング② ～

## Performance Overview 2019

Key ◇ Previous edition ▲ High-income group average □ Europe and North America average



① 2019年World Economic Forum国際競争力ランキングにおいて、クロアチアは141カ国中63位であった（昨年は140カ国中68位）。

② 12項目中、「infrastructure」が32位と最も高位にある。

（備考）World Economic Forum「国際競争力レポート（2019）」より。

## 4 クロアチアの投資環境 ～ 政府の信用格付け ～

Fitch Ratingsは、2021年11月にクロアチア政府にとって過去最高となるBBBの格付けを行った。また、Standard & Poor'sは2019年3月に、Moody'sは2020年11月に、それぞれ格付けを引き上げた。

クロアチア政府の信用格付け (Credit rating of the Republic of Croatia)

Fitch Ratings			Moody's			Standard & Poor's		
Date	Rating	Outlook	Date	Rating	Outlook	Date	Rating	Outlook
2021.11.15	BBB	positive	2020.11.13	Ba1	Stable	2019.3.25	BBB-	Stable
2019.4.2	BBB-	Stable	2019.4.29	Ba2	Positive	2018.9.24	BB+	Positive
2019.6.10	BBB-	Positive	2017.3.13	Ba2	Stable	2018.3.26	BB+	Stable
2018.7.9	BB+	Positive	2016.3.14	Ba2	Negative	2017.9.25	BB	Positive
2018.1.15	BB+	Stable	2014.3.24	Ba1	Negative	2016.12.19	BB	Stable
2017.1.30	BB	Stable	2013.2.1	Ba1	Stable	2015.7.20	BB	Negative
2015.8.3	BB	Negative	2012.5.31	Baa3	Negative	2014.1.24	BB	Stable
2014.8.11	BB	Stable	2008.11.19	Baa3	Stable	2013.8.2	BB+	Negative
2014.2.14	BB+	Negative	2007.7.18	Baa3	Positive	2012.12.14	BB+	Stable
2013.9.20	BB+	Stable	2002.1.14	Baa3	Stable	2010.12.21	BBB-	Negative

(備考) クロアチア国立銀行。Long Term Issuer Rating for Foreign Currency。

# 4 クロアチアの投資環境 ～主な日系企業～

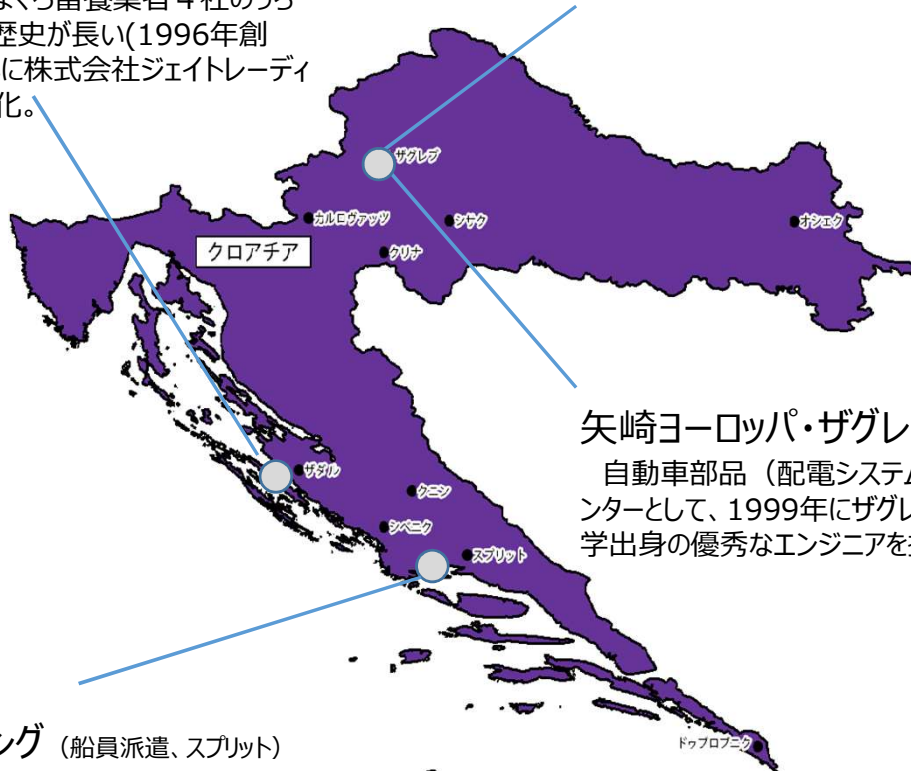
- ・まぐろの畜養、自動車部品開発、医療用ガラス容器製造や、船員派遣を行う企業等が活動。
- ・日系企業の多くは自動車・電機製品・医薬品等の販売店、旅行代理店、飲食店等。

## カリツナ (漁業、カリ)

クロアチアのまぐろ畜養業者4社のうちの1つで最も歴史が長い(1996年創業)。2015年に株式会社ジェイトレーディングが子会社化。

ニプロ・ファーマパッケージング・クロアチア (製造、ザグレブ)  
医療用ガラス容器の製造・販売を行う。2021年にニプロが前身のPiramida社(1950年創業)を子会社化。

- アステラス製薬 (販売 ザグレブ)
- EXITUS (コンサル・通訳 ザグレブ)
- オリンパス (販売 ザグレブ)
- キャノン (販売 ザグレブ)
- コニカ・ミノルタ (販売 ザグレブ)
- J T インターナショナル (販売 ザグレブ)
- 島津製作所 (販売 ザグレブ)
- Sulimanovic (翻訳・通訳・IT、ザプレシチ)
- ダイキン (販売 ザグレブ)
- 武田薬品工業 (販売 ザグレブ)
- Tumlare Corporation (旅行 ザグレブ)
- トヨタ (販売 ザグレブ)
- 日立エナジー (エネルギー、ザグレブ)
- Pink Pig Fast Food (飲食 ザグレブ)
- Vemi Connect (旅行 ザグレブ)
- マキタ (販売 ザグレブ)
- マジヤール・スズキ (販売 ザグレブ)
- マツダモーター (販売 ザグレブ)
- ヤマグチ (飲食、ドブロボニク)



矢崎ヨーロッパ・ザグレブ (自動車部品、ザグレブ)  
自動車部品(配電システム用部品)の設計・開発センターとして、1999年にザグレブに進出。クロアチアの大学出身の優秀なエンジニアを採用。

## イバ・ SHIPPING (船員派遣、スプリット)

NYK(日本郵船)シップマネジメント社の当地代理店。社長は在スプリット日本国名誉総領事。

## 4 クロアチアの投資環境 ～ クロアチアの輸出企業 ～

クロアチアの製品・サービスの輸出促進を目的とするクロアチア輸出業者協会は、毎年、クロアチア経済会議所等との共催により、最も成功した輸出業者を表彰している。

2021年	企業名	備考
大企業部門	KONČAR D&ST	変圧器の製造。日本の水力発電所用機器を設計・製造予定。
中企業部門	INFOBIP	クラウドサービスの提供。日本にもオフィスあり。
小企業部門	AXILIS	ソフトウェア開発（online betting platform）
イノベティブ部門	ALTPRO	鉄道信号システムの製造。

2020年	企業名	備考
大企業部門	AD PLASTIK	自動車部品の製造。
中企業部門	INFOBIP	クラウドサービスの提供。日本にもオフィスあり。
小企業部門	JADRAN TUNA	まぐろ畜養業。水揚げされたまぐろを日本に輸出。
イノベティブ部門	PLIVA CROATIA	医薬品等の製造。

2019年	企業名	備考
大企業部門	AD PLASTIK	自動車部品の製造。
中企業部門	TEHNIX	廃棄物処理関連機器の製造。
小企業部門	TREMAK	溶接及び金属加工サービス。
イノベティブ部門	ALTPRO	鉄道信号システムの製造。

## 4 クロアチアの投資環境 ～関係機関連絡先～

クロアチア経済会議所 (Croatian Chamber of Economy)

U R L : <https://investincroatia.hr/>

電 話 : +385-1-4828-382

メール : [eoim@hgk.hr](mailto:eoim@hgk.hr)

住 所 : Rooseveltov trg 2, 10000 Zagreb, Croatia



Zagreb\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta/

経済・持続可能な開発省 (Ministry of Economy and Sustainable Development)

U R L : <https://investcroatia.gov.hr/en/>

電 話 : +385-1-6106-444

メール : [invest@mingor.hr](mailto:invest@mingor.hr)

住 所 : Ulica grada Vukovara 78, 10000 Zagreb, Croatia



Rijeka\_foto\_Nikola Šolić /Ministarstvo turizma i sporta/

駐日クロアチア共和国大使館 (Embassy of the Republic of Croatia in Japan)

U R L : <http://jp.mvep.hr/en/>

電 話 : 03-5469-3014

メール : [tokyo@mvep.hr](mailto:tokyo@mvep.hr)

住 所 : 150-0012 東京都渋谷区広尾3-3-10

ジェットロ・ウィーン事務所

U R L : <https://www.jetro.go.jp/austria.html>

電 話 : +43-1-587-56-28

メール : [wien\\_info@jetro.go.jp](mailto:wien_info@jetro.go.jp)

住 所 : Parkring 12A/8/1, A-1010 Wien, Austria



Zagreb\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta/

在クロアチア日本国大使館

U R L : [https://www.hr.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.hr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

電 話 : +385-1-4870-650

メール : [economy@zr.mofa.go.jp](mailto:economy@zr.mofa.go.jp)

住 所 : Boškovićeve 2, 10000 Zagreb, Croatia

※本資料は、2021年12月時点の各種機関の資料や報道等により当館が作成したものです。必ずしも情報について正確性を保証するものではありませんので、利用者が本資料を用いて行う一切の行為について、当館は何らの責任を負うものではありません。